



# 第37回 日本臨床薬理学会学術総会

## 看護師に必要な臨床薬理学教育とは ～看護系大学における卒前・卒後・継続教育のありかたを考える～

日時

2016年

12月2日

金

16:20-18:20

米子コンベンションセンター  
2F 小ホール

本シンポジウムでは、看護系大学における臨床薬理学教育に関わる問題点をクローズアップし、それに対応するための各組織・大学での新しい取り組み、展望について討議します。看護系大学と臨床薬理学会との相互理解を図り、看護における臨床薬理学教育を再検討し、新しい時代のニーズに対応しうる看護薬理学教育、人材育成の方向性の提示を目指します。

オーガナイザー： 柳田俊彦（宮崎大学） 笹栗俊之（九州大学）

### 演者・講演タイトル

1. 齊藤しのぶ（文部科学省高等教育局医学教育課 看護教育専門官）

「看護学教育の動向と今後の課題」

2. 山口桂子（日本福祉大学 看護学部長）

「看護からみた臨床薬理学の必要性：卒前・卒後・継続教育の現状と課題」

3. 松田 明子（奈良県立医科大学 医学部看護学科 基礎看護学）

「看護学における臨床薬理学分野の教育の現状と課題～調査結果から検討する～」

4. 佐伯 由香（愛媛大学医学部 看護学科 地域健康システム看護学講座）

「看護における生理学教育：薬理学との共通課題と対策」

5. 柳田俊彦（宮崎大学医学部看護学科臨床薬理）

「臨床薬理からみた看護学：何が求められ、何ができるのか」

本シンポジウムに関する  
問い合わせ先



宮崎大学医学部看護学科 臨床薬理 柳田俊彦  
yanagita@med.miyazaki-u.ac.jp